

部 会	いわき地区	県北地区	県南地区	県中地区	会津地区	相双地区
農 業	古川 惠庸(相農高)	園部 正一(福農高)		和田 三郎(岩農高)	坂内健次郎(会農高)	
	星 勇弥(高教課)			星 勇弥(高教課)		
工 業	鈴木 利長(平工高)	関根 健一(川保高)		宗像 悦郎(郡工高)	中山 寿保(会工高)	
	小松原 格(高教課)			小松原 格(高教課)		
商 業	富樫 和雄(平商高)	鈴木 悦郎(福商高)		桜井 操(高教課)	桜井 正一(若商高)	
	森 修一(高教課)			森 修一(高教科)		
水 産	磯上 正信(小名浜高)					
教科外	牧野聡一郎(高教課)	橋本 今祐(高教課)	渡辺 一朗(高教課)	佐藤秀一郎(高教課)	桜木左久雄(高教課)	塚本 利勝(高教課)
	小島 喜一(高教課)					

(5) 昭和48年度高等学校教育課程研究発表全国大会

県集会各部会代表を全国集會に参加させた。参加者名は次の通りである。

国	語	五十嵐 大典(浪江高)	長 嶋 恒 義(会津高)	
社	会	平 沢 伸 雄(安積高)	佐 藤 巖(勿来高)	福 羽 天 伯(高教課)
数	学	早 川 宗 慶(磐城高)	室 井 徳 吾(会津女子高)	芳 賀 広(高教課)
理	科	五十石 利 夫(小名浜高)	阿 部 金 一(福島高)	佐 藤 寿 男(高教課)
保 健 体 育		鈴 木 一 郎(内郷高)	古 内 俊 直(保体課)	
芸 術	音 楽	岡 部 林之助(平工高)	皆 川 郁 夫(高教課)	
	美 工	熊 谷 正 春(田村高)	佐 野 寛(高教課)	
	書 道	網 代 春 朋(福女高)		
外 国	語	前 田 権(双葉高)	鈴 木 隆 一(石川高)	早 川 俊 一(高教課)
家 庭		吉 田 智 子(岩農高)	杉 内 利 枝(浪江高)	菅 野 栄 子(高教課)
農 業		伊 藤 剛(大沼高)	松 本 義 信(相農高)	星 勇 弥(高教課)
工 業		宗 形 悦 郎(郡工高)	柴 崎 正 典(平工高)	
商 業		田 中 光 雄(福商高)	大 平 徹(平商高)	森 修 一(高教課)
水 産		河 原 敬 一(小名水高)		
教 科 外		佐 藤 哲 郎(須女高)	内 藤 克 一 郎(坂下高)	小 島 喜 一(高教科)

2. 昭和48年度高等学校教育課程編成研究会

(1) 目 的

高等学校における教育課程の編成ならびにその実施に伴って配慮すべき諸問題について研究調査を行い、高等学校教育の適正化を推進することを目的とする。

(2) 任 務

研究会議の行う任務は、次のとおりである。

- ① 高等学校教育課程編成上の諸問題の研究
- ② 高等学校教育課程実施上の諸問題の研究
- ③ 高等学校教育課程に関する諸調査ならびに資料の収集
- ④ 高等学校教育課程に関するその他の事項の検討

(3) 本年度における主たる研究事項は、次のとおりである。

- ① 高等学校における性教育はどうあるべきか
- ② 学習指導要領の改訂に伴い、高等学校の環境に関する教育(公害に関する教育)はどうあるべきか。

(4) 委員は県立高等学校の校長、教頭、教諭の中から委嘱した。なお、性教育研究は本庁生徒指導主事がこれに当った。

氏 名	職 名	勤 務 校	教 科 等
栗原 喜蔵	校 長	県立福島女子高校	総 括
櫻村 五郎	教 頭	県立磐城高校	総 括
吉田伊勢吉	教 諭	県立福島高校	社会(地理)
東谷 全英	教 諭	県立郡山女子高校	社会(政・経)
樋口 利雄	教 諭	県立保原高校	理科(生物)
渡辺 専一	指導主事	県教育センター	理科(地学)
鈴木 一郎	教 諭	県立内郷高校	保 体
長谷川富美	教 諭	県立若松女子高校	家 庭
吉富 直俊	教 諭	県立福島農蚕高校	農 業
榊原 久雄	教 諭	県立磐城農業高校	農 業
佐原 四郎	教 諭	県立福島工業高校	工業(理科学)
鈴木 茂	教 諭	県立郡山西工業高校	工 業
大平 徹	教 諭	県立平商業高校	商 業